

設立支援金を地元の73社が援助



改装工事が始まったマンションで肥田さん

何でも一人
離れ一人暮
らしをする
ことでも
は、親元を
者の自立と
「障害
者」の自立
という形
態。障害
者を支える
生活を支える
と世話人が
入居者の生
活を支える
ことでも
「自立」の
自立と
「障害
者」の自立
という形
態。障害
者を支える
生活を支える
と世話人が
入居者の生
活を支える
ことでも

「自立を目指す新しい形態」
ジョボ クジヤが運営、障害者 階級分すべてをグループ
ホームにするため、二月
同社グループ サービスで、共同生
活のグループホーム
組織、一 事業となる。
一般社団法人 同社本社があり、肥田
人のLi 社長の「自立」でもある、
CIGi 三階建てマンション「コ
O(リッ トーボラスHIDA)の一
が共同生活をし、支援員

「自立を目指す新しい形態」
デザイン会社を核に、障害者の就労・相談支援業務
など福祉事業も手がけるシーパワーグループ(本社・
多治見市大正町、肥田和明社長)は、五月の開設に向け、
障害者向けの自立型グループホーム「G:Home
(ジョボホーム)」の建設に入った。生まれつき体が障害
を抱え、車イスで生活する肥田社長が七年かけて実現
させたグループホームは、東濃西部では初の初となる身体
障害者も対象にした事業。設立支援金を民間事業所に
募ったり、「障害者が自分らしい自立生活を目指す場
所」というコンセプトも新しく、障害者福祉に一石を
投じている。

シーパワーが5月に開設

身障者も含むGHは東濃西部初

グループホーム
「G:Home」の建設に入った。生まれつき体が障害を抱え、車イスで生活する肥田社長が七年かけて実現させたグループホームは、東濃西部では初の初となる身体障害者も対象にした事業。設立支援金を民間事業所に募ったり、「障害者が自分らしい自立生活を目指す場所」というコンセプトも新しく、障害者福祉に一石を投じている。

できるようにすること
ではない。やりたいこと
を、できるようにするた
めの選択肢を増やすこ
と。それぞれの自立生活
に向かっていけるグル
ープホームを目指したい
と、肥田社長は話す。
またグループホーム開
設にあたっては、補助金
に頼る代わりに、地元
の民間事業者が、頼り、
開設事業費約四千万円
のうち、七十三事業所が二
千万円を寄付。こうした
動きは、単に資金を募る

軽度の人ほど普通に一
般の就労・生活を送って
いることも多い。そのた
め横のつながりも薄く、
親の高齢化などにより日
常生活の介助などが難し
くなっても、相談場所や
行き場が分からず、家庭
内で問題を抱え込んでし
まっているケースも少な
くないという。
肥田社長は、自身が抱
える障害が理由となり、
就職活動してもなかなか
か受け入れ先がなく、自
分でデザイン会社を立ち
上げ、就職先をつくつ
た。このような経験もあ
り平成二十四年、福祉事
業に乗りだして職業訓練
や福祉就労などの分野で
サービスを展開。障害者
の「経済」と「生活」両
面の生活環境を支援した
設計計画を打ち出し、法
律や資金、社会情勢など
さまざまな課題を一つず
つ乗り越え、七年越しで
開設へとこぎ着けた。

「購読お申し込みは、電話、ファクス、
Eメール (koudoku@n-n.co.jp) のい
ずれかで、〒・住所・お名前(ふりがな)
・電話番号をお伝え下さい。
☆購読料は月700円。お支払いは3カ月ごと
から。便利な引き落としをおすすめします



東濃新報社
〒507-0037
多治見市音羽町4-11-1
TEL (0572) 22-4306
FAX (0572) 25-0909
編集発行人 野村理幸子